

支部報告

東海支部報告:2022年度講演会および第18回東海ヤングセミナー

Tokai Branch Report: 2022 Lecture and 18th Tokai Young Seminar

加藤 千穂
Chiho Kato

椋山女学園大学
Sugiyama Jogakuen University

2022年度講演会および第18回東海ヤングセミナーが2023年3月18日に名古屋市立大学北千種キャンパスにて開催されました。講演会には、椋山女学園大学生活科学部管理栄養学科教授 大口健司氏をお招きし「肌の色調に関与する因子と皮膚老化」というテーマでお話しいただきました。参加者は45名(会場28名, Zoom17名)でした。続いて行われた第18回東海ヤングセミナーでは、6件の研究発表がありました。こちらは会場での開催であり、参加者は29名でした。支部交流会には14名が参加し、with コロナとなつてから久しぶりの開催となりました。

大口氏のご講演では、まず皮膚の構造と皮膚が肌色に見えるしくみ、 $L^*a^*b^*$ 値による皮膚色の分類、メグザメーターを用いた皮膚色と皮膚の色相を決定する因子についてご説明いただきました。また、2種類のメラニン色素の有無により皮膚や体毛の色が規定されていることや、紫外線が当たることでメラニン色素が日傘のように真皮を守っている状態が日焼けであり、またそれがシミの原因にもなり得ることを教えていただきました。さらに、皮膚老化の要因となる黄ぐすみとしわの生成には余剰の糖質が関係しており、食後に足の筋肉を使った軽い運動をすることで余剰糖質の増加を抑えることができることや、アンチエイジングのための食事の摂り方についても詳しくご説明いただきました。大口氏によると皮膚は臓器であり、体内の劣化状況を示すバロメーターであるとのこと、日頃からよく皮膚を観察し身体の内外的からのケアが大切であると実感しました。今回のご講演では皮膚の老化に関する内容について皮膚の色に着目してご説明くださり、非常に興味深い内容でした。

ヤングセミナーの1件目は原田菜央さん(椋山女学園大)のジェンダーレスファッションについての発表で、男性らしい女性らしいという印象は色彩よりアイテムの影響が強いことが報告されました。2件目は山中悠さん(椋山女学園大)の男性の若年時と高齢時の適合服装色の差異についての発表で、各イメージに最も関与するのは服装色であると報告されました。3件目は花井菜月さん(名古屋学芸大・院)の天然染料の

経年美化を活かしたテキスタイルデザインの発表で、天然染料で染色した試料を紫外線により退色させその退色挙動を予想し、さらに退色した色彩を活かしたデザインの提案をされました。4件目は小野友加さん(名古屋市立大)の景観形成地区における店舗のファザードデザインの発表で、名古屋市内の2つの地区における変更対応やデザイン変更の実態について業種別に報告されました。5件目は長屋匠馬さん(名城大)の美しい色風景のk-meansクラスタリングによる色彩分布の発表で、心理的色彩を物理的色彩の画素が持つ色彩情報に近づけるためk-means法によるクラスタリングを提案されました。6件目は山下遼真さん(名城大)の美しい色風景を用いた評価用語の発表で、回答者の時間的負荷を減らすために評価用語を集約して数を減らす提案をされました。いずれの研究も興味深い内容で、時間を超えて活発な討議が行われました。

交流会では、発表や研究についての話題に和やかな歓談時間となりました。



講演会(大口健司氏)



ヤングセミナー(左から発表順に)